



平成 26 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 不 二 家
 代表者名 代表取締役社長 櫻井 康文
 (コード番号 2211 東証第一部)
 問合せ先 取締役総務人事本部長 河村 宣行
 (TEL. 03-5978-8100)
 当社の親会社 山崎製パン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 飯島 延浩
 (コード番号 2212 東証第一部)

平成 26 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間業績予想値と
 実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 26 年 2 月 13 日に公表しました、平成 26 年 12 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）の業績予想値と実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、同じく平成 26 年 2 月 13 日に公表しました通期（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 12 月期第 2 四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	46,000	200	350	100	0円39銭
実 績 値 (B)	48,375	△169	△35	△523	△2円03銭
増 減 額 (B-A)	2,375	△369	△385	△623	—
増 減 率 (%)	5.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前第 2 四半期実績 (平成 25 年 12 月期第 2 四半期)	44,847	242	458	135	0円53銭

2. 平成 26 年 12 月期業績予想の修正

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	97,000	1,300	2,000	1,200	4円66銭
今 回 修 正 予 想 (B)	103,000	1,300	2,000	1,200	4円66銭
増 減 額 (B-A)	6,000	—	—	—	—
増 減 率 (%)	6.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期)	93,760	1,096	1,786	930	3円61銭

3. 差異の理由

(1) 第2四半期累計期間実績差異の理由

売上高につきましてはお買い得感や値頃感を訴求する商品やサービスを提供するとともに、高品質な商品や付加価値のあるサービスの提供にも取り組み、洋菓子事業、製菓事業ともに売上の拡大をはかることができました。さらに平成26年4月1日に子会社化しました㈱スイートガーデンの売上高も加わり、当初計画を上回りました。

営業利益では生産ラインの稼働率向上や省人省力化、販売経費の抑制などに取り組むとともに、原材料価格高騰への対応として、一部製品の規格・価格改定などを実施いたしましたものの、主要原材料、特にチョコレート原料の想定を上回る価格高騰が、乳製品や卵などの高騰と相まって損益を大きく下振れさせることとなりました。経常利益につきましても持分法適用関連会社の業績の下振れに伴い、持分法投資利益が計画を下回ったこと、四半期純利益につきましても法人税等の負担増加などが予想値との差異が広がる要因となりました。

(2) 通期業績修正の理由

通期におきましては売上高は㈱スイートガーデンの新規連結に伴い、修正を行いました。

利益面につきましては修正は行っておりません。第3四半期以降は、原材料価格の高騰に対しては製品の規格変更や新製品による原価改善、依然として根強い低価格志向に対しては値頃感のある商品の拡充などをスピード感を持って取り組んでまいります。また、近年増加傾向の販売費につきましても効率の良い営業活動を通じて引き続き圧縮につとめてまいります。

さらに、㈱スイートガーデンについては店舗の不二家ブランド化を推進するとともに、量販店やコンビニエンスストアなどへの商品供給の拡大につとめてまいります。加えて、親会社である当社と互いの生産ラインの特性を活かした効率の良い製品供給体制を早期に構築してまいります。

以 上